

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市笹野台地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

笹野台地区は昭和30年頃から開発が始まった新興住宅地で、半世紀以上の歴史を有しています。戸建住宅が中心の住宅街で、集合住宅は比較的少ない地域です。笹野台地区は、連合自治会、地区社会福祉協議会などが中心となり、さまざまな活動が活発に行なわれていますが、地域を支えているボランティアなどの、担い手は高齢化してきています。昔からの近所付き合いがご逝去により途絶えてきていること、自治会未加入の世帯や、老人会未加入者の増加により、近隣住民把握が難しく、交流の機会が減ってきています。階段や坂が多く起伏が激しい地域であるため、買い物に苦慮している方が多いことが課題です。笹野台地区高齢化率は、29.4%と全国平均より高く、1人暮らしや高齢者世帯が多い地域となっています。人口は年少人口が減少し高齢者人口が増えています。

地域包括支援センターエリアの地域ケア会議により出された、地域課題の坂道が多く高齢の方が買い物に苦慮しているという事により、エリア内の事業所と地域の方々の協力により下肢筋力の強化が期待できる、笹野台体操座位編と立位編の体操を作ることができました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

指定管理者として、利用者が施設を快適・安全に利用していただくと共に、施設や設備の価値をできるかぎり維持できるよう、計画的かつ誠実に管理を行いました。

運営法人として、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）1U（美しい）の取り組みを推進し、職員一人ひとりが施設管理への意識を持つと共に、利用者の視点に立った設備の安全、快適な環境、性能性及び快適性に配慮しながら、きめ細かいメンテナンス対策を進めました。

施設（建築物、建築設備及び建築物の付帯設備）の管理については、施設の機能と耐久性を長期にわたって確保するために、「横浜市公共建築物（市民利用施設等）の施設評価及び保全に関する運用指針」（平成22年3月）、「維持保全の手引き」（平成22年3月）、「施設点検手引き（簡易点検マニュアル・平成21年10月改訂）」等に基づいて、清掃及び点検、運転・保守を行い、施設の状態を正しく把握するとともに、適切な維持管理保全を行いました。

建物の管理については、日常点検として巡視点検を行い、定期点検については、専門業者に委託して実施しました。点検結果等については、報告書等を作成しました。設備管理は、設備、機器自体の保全とともに、適正運転がなされることが重要であり、そのため、専門業者に委託し、各種点検・検査や測定・記録をしました。

施設・設備、機器の修繕については、区役所に報告するとともに、適切に対応いたしました。

イ 効率的な運営への取組について

ケアプラザの労務・経理等の事務処理に関しては法人本部との役割を分担し、効率化を図りました。委託や備品購入に当たっては、法人割引等を活用し、経費の削減に努めました。

朝礼、各会議等で、職員一人ひとりのコスト意識の高揚を図りました。特に、電力の使用については、消灯、無駄な機器などの運転をしないこと等を徹底して行いました。毎日館内温度湿度を計測、朝礼で周知し、職員の意識づけを行いました。

不要なものは購入しない、物は大切に使い、リデュース、リユース、リサイクル(3R)等を推進しました。

地域ケアプラザ4部門の連携と情報等の共有を図ると共に、職員会議等で効率的な取組みについて検討し、できるところから実施しました。

法人内所長会等では知恵を出し合うなど、効率的な運営の一助としました。

ウ 苦情受付体制について

ご利用者及び地域住民の方から、業務遂行上の苦情があった場合、内容は市役所・区役所に、書面をもって報告するとともに、真摯な態度で受け止め、誠意をもって対応する姿勢を、職員一人ひとりがもてるよう研修しました。

苦情対応の総括責任者を所長とし、各部門の管理者を、苦情受付・解決責任者として、館内に掲示するとともに心のこもった対応と速やかな解決に努めました。

苦情等の内容は記録として残し、原因追求を図ることで、今後の苦情予防となるよう会議にて分析し、今後の対策を検討し対応しました。

地域ケアプラザの1階及び2階のフロアーに各1箇所ご意見箱を設置し、自由に記入していただくようにしました。また、ご意見を1か月掲示し所長がご意見に対して返信する体制としました。

運営法人として設置している、弁護士等を含む第三者委員会により、重要課題については連絡、相談し、適切な対応・解決に結びつけられるようにしました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

火災・事故・地震・台風などの災害発生時には、結果回避義務(発生事の対応)に従い、すばやく初期対応を行い、マニュアルに基づき、全職員が利用者の安全確保を図れるようにしました。

貸し館の利用については、災害時の避難誘導の手順、利用者へ火器使用の際の注意喚起、爆発物、危険物の持ち込み防止、使用後の清掃、電気・ガスの消し忘れ等の点検、チェックリストを利用した日常の巡視点検を行い、その後、職員による再チェックを行い、防災対策に取り組みました。

地域の防災訓練、防災講演会、その他地域行事に積極的に参加し、日頃から「顔の見える関係づくり」に努め有事に備えました。

災害時特別避難場所となっているので、その役割を認識するとともに備蓄物資を適正に管理しました。特別避難所開設を想定した訓練や研修も継続的に行いました。

防犯対策は、鍵の管理責任者は所長、開閉前後には点検表により、全館点検、戸締り等を徹底、夜間等は警備会社(機械警備)と連携し、事故防止を図りました。また、警備会社の緊急通報システムを取り入れ緊急ボタンの設置、全職員の緊急時対応研修を行いました。

オ 事故防止への取組について

事故防止については、法人統一の事故防止マニュアルがあり、対応フロー、連絡体制、報告判断基準も明示しています。また、日常的に正確な動作を行うことを徹底すると共に、なすべき動作の欠落がないよう相互チェックを行う等、非常事態時に対応できる研修等を行いました。

各部署の会議等で、事故防止、感染症対策等の取り組みを行い、発生した事故を検証し、事故の減少に努めました。

サービス提供時に発生したヒヤリハットについては、職員会議等で検討会を開催し、事故防止に関する重要な情報として活用しました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の保護については、「個人情報の保護に関する法律」等の法令、厚生労働省のガイドライン、横浜市の「個人情報保護条例」を遵守しました。また、運営法人における「個人情報保護に関する規程」に従って、利用者の権利・利益を保護するために、個人情報の適切な取扱いに関し、必要な事項を「個人情報保護に関するマニュアル」に定め、職員に対し研修を実施しました。

「個人情報保護に関するマニュアル」概要

①「個人情報保護チェックリスト」を用いて、職員は年1回以上、セルフチェックを行う。

②個人情報を業務上必要な関係者以外には伝えない。

③個人情報を得るときは使用目的を明確に伝え、了解を得る。

④個人情報は業務上必要性がない者が閲覧等出来ないよう厳重に保管管理する（夜間等、不在時施錠、机上放置不可）。

⑤情報の伝達などに当たっては複数回のチェックを行ない、個人情報の漏れやFAXの誤送信等がないように留意する。

⑥不要の持ち出しを禁ず。

⑦やむを得ず個人情報をFAX等する場合は、個人が特定できないよう、マスキング等の処置をする。

職員研修等

①職員を採用した時には「個人情報の保護に関する誓約書」を区に提出しました。

②採用時研修において、個人情報の保護について、必須科目として習得させました。配属後は、年1回以上職場研修を行いました。

③他事業所等の個人情報の漏洩事例については、職員会議(欠席者には事例回覧)等で周知すると共に、注意を喚起しました。

キ 情報公開への取組について

横浜市の指定管理料等によって運営されている地域ケアプラザの事業は、広く住民に情報が開示されることを当然と受け止め、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて、適正な対応に努めました。

地域ケアプラザで発行する、広報誌（毎月発行）等において、運営状況等を公開しました。

また、法人のホームページ等で、地域ケアプラザの事業の紹介などを行いました。事業計画書、予算書等をカウンターに備え付け、閲覧に供しました。

情報ラウンジコーナーに事業計画書、予算書等を備え付け、閲覧に供しました。

ク 人権啓発への取組について

館内へ人権啓発ポスターを掲示し、活動を周知しました。障がいの理解という事で、区役所・旭区社会福祉協議会との共催で「障害の理解とボランティア講座」の開催を行いました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

横浜市は、環境方針において、理念及び基本方針が出されています。公の施設である地域ケアプラザも、これに基づき取組みました。

横浜市のごみゼロ「ヨコハマ3R夢プラン」の理解と実践

①リデュース(Reduce)

ごみそのものを減らします。出来るだけ物は購入しない。特に、OA機器の普及に伴ってコピー用紙などが増える傾向がありますので、購入量をチェックするなど、紙の使用量の削減を図りました。

貸し館の利用者等の部屋利用に当たっては、ごみの発生抑制をお願いしました。(例: 使い捨ての割り箸や容器は使わない、館の箸や容器を使う)。

②リユース(Reuse)

再利用します。購入する場合繰り返し使えるもの、不要紙の裏紙の利用等、小さなことでも徹底した取り組みによって、職員にゴミの減量化を意識づけました。

③リサイクル(Recycle)

物を最後に廃棄する場合、全職員に、手順書に基づいた分別の徹底を図りました。

電気・ガス等エネルギーの使用の削減

①節電対策として、不要な電灯は消灯、空調設備の運転は冷暖房の設定温度を夏季 28度、冬季 20度を目安に設定しての温度管理を行いました。

②服装等は、クールビズ、ウォームビズで対応しました。

③窓開けやサーキュレータ、空調ファン、ブラインド使用により冷暖房の効率化を図りました。

建物内外の整備

①5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)1U(美しい)運動を推進し、来訪者が気持ちよく活動できるように取組みました。

②樹木や植栽の手入れ及び雑草刈等の環境整備を随時行いました。

③毎日職員による清掃を心がけ、館内がきれいに保たれるよう清掃を行いました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 保健師 1名
 - ・ 主任介護支援専門員 1名
 - ・ 社会福祉士 1名
- 平成28年7月5日～平成28年7月31日社会福祉士欠員
平成29年2月～主任ケアマネジャー欠員

《目標》

- ・ 介護保険法等関係法令の遵守。
- ・ ご利用者の選択を第一とした関係事業者等との連携を図りながら、介護予防支援事業を推進しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実績なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の高齢者ニーズ発掘を目的に、自治会館への出前講座を行ったり、民生委員児童委員協議会委員、自治会役員、老人クラブ役員等と連携しながら戸別訪問し、地域ケアプラザ紹介リーフレットや、行政機関からの情報紙面を用いての制度の啓発に努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
126	121	123	122	117	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	121	121	123	121	124

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1 名常勤
- ・ 介護支援専門員 5 名常勤（管理者含む）

《目標》

①居宅介護支援事業

- ・ 地域と連携をして、新規依頼の相談を積極的に行いました。
- ・ 利用者の心身の状況をふまえ、利用者や家族の意向に沿った適切なケアプランの作成に努めました。

②介護予防支援事業

- ・ 地域包括支援センターと連携し、利用者の状況をふまえ、利用者や家族の意向に沿った適切なケアプランの作成に努めました。

③認定調査

- ・ 自治体の委託により、受託を行いました。（年間 183 件）。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・ 今年度の実績はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ ご利用者の立場に立って本当に必要なサービスを提供いたします。
- ・ 人間的なあたたかさを大切にしています。
- ・ 自分らしく生活できることを大切にしています。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
152	156	151	150	147	135
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
133	132	135	143	139	150

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

個別相談、ケアプラザの自主事業、地域ケア会議や地域会合、イベントへの参加など様々な機会を通じ、地域の社会資源や活動の情報収集をすると共に地域課題の把握に努めました。定例カンファレンスや緊急のケースは随時、行政地区担当と情報を共有、同行訪問するなど、迅速、適切な支援に努めました。区役所子ども家庭支援課、旭区地域子育て支援拠点「ひなたぼっこ」と連携し子育て支援として「食育講座」「公園遊び」の定期的開催を行いました。区役所障害者支援担当や若者支援横浜西部ユースプラザと連携し、引きこもりの方の就労支援として、ケアプラザでのボランティア活動支援を行いました。

ケアプラザから離れた地区での、出張サロンや地域の方が集いやすい笹野台会館での介護予防講座の実施など、地域へ積極的に出向き、より多くの方に参加いただけるよう努めました。顔の見える関係作り、些細な相談ごとでも、ケアプラザ（地域包括支援センター）を活用いただけるよう地域の総合相談窓口として周知活動に努めました。また、毎月老人会定例会へ広報紙・チラシを持参し、班回覧にて情報発信をしました。今年度は、出張サロン(2カ所：毎月1回開催)、出張講座11回/年（出張サロンで介護予防教室を含）を行いより身近な場所での活動を支援しました。

地域の相談窓口としての周知を図るため、旭区役所と作成をした「ケアプラザってなに」を連合自治会会長会・笹野台地区社会協議会常任理事会・笹野台かがやきクラブ会長会へ持参し、身近な相談窓口の広報活動を行いました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

朝のミーティング、所内会議など日常的に情報共有し、動きの見える連携に努めました。職員会議においては、他部署の業務を知り、課題を共有するなど、協力体制の強化を図りました。

ケアプラザから離れている地域に出向き、出張サロンを定期開催しました。（地域活動交流、地域包括支援センター共催）地域情報・課題を共有し、ニーズの把握、課題解決に向け連携した事業展開に努めました。

閉じこもり予防や認知症予防の必要な方への支援として、地域活動交流の自主事業へ繋げるなど連携した支援を行いました。また、自主事業や自主活動の参加者から気になる方、支援を必要とされている方を地域包括支援センターとの情報共有により、必要な方への早期支援に努めました。

個別支援をする中で、地域課題につながる事例を包括レベル地域ケア会議の中で検討をし、地域全体で課題としてとらえ、旭区社協との共催による精神ボランティア講座を開催いたしました。

担当エリア内の事業所連絡会立ち上げ支援をし、エリア内事業所が連携し、事業所マップや「笹野台体操」を作成しました。

3 職員体制・育成

人材育成を「階層研修」と「専門研修」の二つの視点から、人財部(人事・労務管理部門)を中心とした各種の階層別(新任者・中堅職員・指導的職員・管理職・統括経営職)研修と、介護保険サービスのカテゴリーに呼応する事業部門(通所介護事業部、訪問看護事業部など)主導で行われる専門、職種別研修を研修の縦横の軸として実施、当ケアプラザは、部署ごとの年間計画に沿って研修を受講し、その後回覧にて情報共有し、職員会議にて適宜勉強会を開くことにより、資質の向上に努めました。

人員体制：平成28年4月1日～平成28年5月9日、平成28年8月1日～10月1日生活支援コーディネーター欠員、平成28年7月4日～平成28年7月31日社会福祉士欠員でした。

人材育成には、定期的な管理者との面談と年2回の人事考課によって職員の働きを公正・適正に評価を行いました。定期面談以外でも職員は誰でも希望に応じて管理者、所長等と面談をすることができ、働き方についての相談など課題解決が必要なときには、組織として対応を行いました。

居宅介護支援、地域包括支援センター(予防介護支援)は、コンプライアンス、事故防止、苦情解決、個人情報保護、感染症対策、高齢者虐待防止等の項目を立て、地域活動交流を含めた3部署で年間計画を立てて研修を実施しました。

階層別研修、専門・職種別研修(介護技術や相談技術の向上等)を実施することで、さまざまな角度からの人材育成が可能になっています。こうした研修は法人内で企画されるものだけに限らず、行政、横浜市社会福祉協議会等が主催する研修や講習会、研究会等も積極的に活用し、法人内の研修と組み合わせ、職員の知識の向上に努めていきました。

また災害時特別避難場所、インフルエンザ・ノロ感染症対応等については地域ケアプラザ全体で、研修を行いました。平成28年7月5日から平成28年7月31日まで、社会福祉士欠員、平成29年2月1日から平成29年4月30日まで主任ケアマネジャー欠員により適切な人員配置を行えませんでした。平成29年5月1日からは適切な人員配置を行っております。

4 地域福祉のネットワーク構築

笹野台地区社会福祉協議会の常任理事会・評議員会・支えあい連絡会へケアプラザ職員がメンバーとして参加、連合自治会等の地域行事・地区社会福祉協議会との共催事業など様々な場面で、地域の福祉活動支援団体、関係機関と情報共有、地域課題に適切な対応ができるよう関係づくりに努めました。

笹野台地区ささえあい連絡会の一員として(支援チームの一員)第3期地区別計画を推進しました。支えあいネットワークの第3期地区別計画について、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが定例会議に出席し情報の共有を行いました。又、年1回開催の「きらっとあさひ福祉大会」の冊子原稿、パネル展示原稿の作成協力を行いました。

毎年恒例の趣味探訪展を開催し、登録団体の発表会・作品の展示会を通じ、活動の周知と団体間の交流を深めました。毎年団体交流会を開催し情報提供や情報共有を図りました。

地域ケア会議を活用したネットワーク構築に努めました。今年度は、地域ケア会議個別会議1回/3か月、包括エリア会議2回/年実施しました。区と共同で作成した、旭区地域ケア会議のリーフレットを活用し、地域の方々へ広報をしました。

5 区行政との協働

地域福祉保健計画・地区別計画の推進・地域の顔の見える関係づくり・ジュニアボランティアの支援・認知症サポーター養成講座など、地域の課題を抽出し、区計画を意識した取り組みに努めました。地区担当及び各分野の担当と定例カンファレンスや連絡会の場で情報共有や情報交換を行いました。

毎月の定例カンファレンスの場において、地域ケア会議の運用方法や介護保険改正に向けた事業方針について話し合い、今後活発に事業展開できるよう努めました。

毎月の定例カンファレンスの場において、迅速にケース報告を行い 処遇困難となる前に地区担当の職員より適切な助言・指導を受けるよう努めました。

区と旭区内地域ケアプラザが協働して作成した、ケアプラザがわかるリーフレット(ケアプラザってなーに?!)を活用し、地域に広く配布しました。

元気づくりステーション・みな元気あさひの継続ができるよう支援に努めました。

行政・民生委員と情報共有をし、地域の方が安心して生活ができるよう支援を行いました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

笹野台地区連合自治会の会議・行事に参加、笹野台地区社会福祉協議会の常任理事として、毎月開催の常任理事会に出席し、情報提供を行うとともに、情報交換や情報収集に努めました。

笹野台地区社会福祉協議会の評議員として評議員会に出席し、地域のご意見、ご要望など、福祉関係の問題点について情報共有し、地域ケアプラザとしての情報発信を行いました。

福祉保健活動団体(当ケアプラザ登録団体等)を区分別にファイリングし、誰が見てもわかるように書類管理の徹底に努めました。また、地域の方に活動が周知できるようサークル活動コーナーを設け、最新の情報になるよう管理を行いました。

月1回発行の広報紙や事業チラシを作成し、毎月地域の自治会の回覧又は掲示板に掲載を依頼し、情報を提供しました。

笹野台地区のホームページに、毎月事業チラシを掲載依頼し情報発信を行いました。

当ケアプラザのfacebookの内容を常に更新し、開催された事業風景や、新規事業の宣伝をし、幅広い世代の方に情報を提供しました。笹野台地区の社会資源である地区連合自治会の会議・行事に9回参加、地区社会福祉協議会の常任理事として、毎月開催の常任理事会に7回出席し、情報提供を行うとともに、情報交換や情報収集に努めました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

広報紙やホームページでケアプラザの紹介を載せ貸館のご利用促進を図りました。

福祉保健活動団体が、地域の行事やケアプラザの行事(趣味探訪展・高齢者昼食会・サロン)へのボランティアとして参加できるよう機会作りを行いました。

地域の方がいつでも貸館状況が確認できるよう台帳を常設しました。

福祉保健活動団体が、当ケアプラザ内の事業において会場設営、受付、片付け、お茶出し等、ボランティア活動ができるよう、ボランティア情報の提供と、シニアボランティアポイントリーダー設置をし、団体への声掛けと周知を行いました。ボランティアバッジを作成し、ボランティア活動時に着用していただき、ボランティア参加の意識を高めるための働きかけを行いました。

サークル活動団体へ、ボランティア情報チラシを配布しボランティア参加を促しました。情報ラウンジに誰もが閲覧できる活動一覧ファイルの整備を行いました。広報紙やホームページで部屋の利用促進を図りました。福祉保健活動団体が、地域でできることを行う機会づくりに努めました。

3 自主企画事業

地域住民が集える場、活動できる場、声が拾える場としてまた、目的を意識し、課題解決となる幅広い事業の企画・開催に取り組みました。

高齢者向け事業では、ご自宅から出掛けるきっかけとなる事業を企画・開催しました。笹野台地区社会福祉協議会と共催のサロン『お茶べり会』の内容を更に充実させ、多くの方に参加いただけるサロンの構築に努めました。

子ども向け事業では、子どもと保護者がふれ合える事業、仲間づくりや情報交換の場となる事業を企画・開催しました。子育て支援拠点「ひなたぼっこ」と共催した『公園あそび』を広く周知しました。また、保護者向け『食育講座』として食事の大切さを伝える（調理実習あり）講座を（通年で開催）行いました。

小学校・中学校の子ども対象に余暇支援活動の事業の開催を検討していきました。

障がい児（者）向け事業では、地域の方が障がいを正しく理解し、障がいにも優しい地域となるように事業の取組を進めました。8月には、障がい児余暇支援活動となる『なっっこスマイル』を3ケアプラザ共催で（南希望が丘地域ケアプラザ・川井地域ケアプラザ・笹野台地域ケアプラザ）開催し、学校以外での居場所づくりや、身近な地域で顔の見える関係づくりを図りました。また、将来的に継続して支援できる体制を構築しました。

民生委員児童委員協議会と連携し、ジュニアボランティアが活動できる事業を開催しました。（キッズデー）。

地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域活動交流が連携し、介護予防事業、普及啓発事業に取り組みました（サロンひとやすみ・ほっとサロンだんらん）。

社会資源として自主活動へつなげられる事業について、活動が継続いただけるよう後方支援を行いました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

地区社会福祉協議会と協働し、若い世代の新たな担い手発掘に向けた取り組み（地域デビューガイダンス）を進めていきました。広報紙や地域の掲示板にボランティア募集のチラシを掲示し参加を促しました。

ボランティア活動希望者のニーズを把握し、サロン事業などへ活動の場をコーディネートしました。また、地域で開催の昼食会のお楽しみ会などへ活動団体を紹介するなど、ボランティアのコーディネートに努めました。

登録団体の活動が活かせる事業を企画し、事業の講師やアシスタントとしてボランティア活動を提案、活動をしていただくよう支援をしました。

地域の方を対象とした、ボランティア体験談講習会を開き、啓発活動に努めました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

<p>総合相談</p> <p>総合相談においては、コンピュータシステムを活用。相談内容等データ入力後プリントアウトし、3職種で回覧。データは個人名で蓄積されるため、3職種だれもが経過を確認しながら状況把握できるようになっており、継続した支援を迅速に行いました。</p> <p>自治連合会、地区社協、民生委員児童委員協議会等関係機関と、ケアプラザ自主事業や地域会合イベント等を通して顔の見える関係づくりを行いました。地域の中で心配と思われる方の情報提供を頂き、電話対応や訪問にて随時支援を行いました。</p> <p>地域包括支援センター内で把握した支援が必要と思われる方の対応は、民生委員・児童委員協議会の定例会へ出席し、民生委員等地域の関係団体と情報共有し連携した支援に努めました。</p> <p>また民生委員の方々が担当する支援の必要な方の情報も共有し連携してアプローチに努めました。</p> <p>当ケアプラザへ来所が困難な方に対しては自宅や入院機関等に訪問し状況把握し早期支援に努めました。また、定例カンファレンス等を通じ、情報を共有すると共に連携した支援に努めました。サービスに繋がらない方や連携した支援の必要な方など、訪問や電話など安否確認・状況把握し、課題解決に向け関係機関と連携し支援を行いました。</p> <p>「地域のよろず相談所地域ケアプラザ」を作成し関係各所に配布。交番や病院等地域の主要拠点や商店街、老人会の会合等で毎月総合相談窓口の周知活動を行いました。</p> <p>笹野台交番や新聞配達店、ヤマト運輸等より気になる高齢者や徘徊高齢者の相談などが挙がり、連携した支援が構築されてきました。</p> <p>介護者支援としては「介護者のつどい」を毎月第4月曜日に開催。施設見学会を2回開催。実際の介護現場を見学することで介護保険の理解や周知に努めました。</p> <p>ケアプラザから離れた富士見ヶ丘自治会館・東笹野台会館を会場としたサロンの定期開催や笹野台会館等での介護予防講座の開催など、より身近な自治会館などに出向くことで相談しやすい場作りに努め、総合相談窓口の周知活動を行いました。</p>

<p>地域包括支援ネットワークの構築</p> <p>地区社協の常任理事会、地域の各種会合、行事、関係機関主催の会合などに出席し、ネットワークの構築に努めました。地域ケア会議（個別）では、悪徳商法に騙されそうになった方や、共に精神疾患の夫婦等、地域課題となっているケースを検討しました。6月と11月には包括レベル会議として連合自治会、地区社協、民生委員など地域の支援団体と地区に存在する福祉事業所と、個別ケースの課題を基に、地域の課題を共有し課題解決に向けた検討を行いました。地域に存在する訪問看護や老人福祉施設等介護福祉事業所と共に、地域課題でもある坂道に負けない為の筋力を身につける「笹野台体操」を地域の皆さんと作成しました。地域の音大生が作曲、11月～地域住民と共に体操を開始しました。また、地域にいる精神疾患の方をサポートする為に、29年11月から2月にかけて精神福祉ボランティア講座開催を計画しています。</p> <p>毎月関係機関を始め、交番や商店街、医療機関など概ね40件、担当地区へ広報紙を持参して訪問し、顔の見える関係づくりや情報共有に努めました。成果として近隣の交番や宅配業者等より、気になる高齢者の相談を頂くなど、ネットワークの繋がりが強化されました。日々の業務について情報共有し、それぞれの専門性を活かした支援・対応に努めました。また施設内外において、地域活動交流と連携・協働し、事業運営や地域のネットワークの構築に努めました。一例として地域活動交流と共催で出張サロンを毎月開催しました。</p>

実態把握

広報紙、チラシを老人会定例会に毎月持参し、介護予防事業や高齢者体操事業の周知、ニーズ把握に努めました。介護予防講座などの希望を老人会毎に伺い、今年度は2箇所開催しました。広報紙やチラシは老人会内での班回覧もしていただき、より対象者へ周知できるよう協力いただきました。

個別ケースや地域ケア会議を通じ、地域の現状把握に努めました。また関係機関と情報共有し、連携した支援に努めました。地域の自治会館を会場に出張サロンを定期開催。参加者のニーズに合わせたミニ講座の実施や個別相談などに対応しました。自治会館よりも身近な場所で、顔の見える関係づくりに努めました。

2 権利擁護

権利擁護

笹野台地区は、権利擁護について関心が高い地域であることを踏まえ、消費者被害防止の為に普及啓発事業の実施、あんしんセンターや法テラス、法律の専門家（弁護士、司法書士、行政書士等）と連携した講座や個別相談会などを開催、広報紙等を活用し情報提供など、ご本人が有する権利を理解してもらうとともに、権利侵害の予防・発見、権利保障に向けた対応を行いました。

民生委員、地域住民、病院、交番などから、気になる方の情報提供があったときは、迅速な状況確認を行いました。必要に応じ訪問など継続的な見守り支援を行っていきましました。毎月定期的に広報紙を持参しながら交番や病院など気になる方の情報共有に努めました。

民生委員の方やケアマネジャーからの相談など、虐待の疑われるケースについて、情報確認し、迅速に区役所へ報告、区地区担当職員と定例カンファレンスで情報共有し適切な対応ができるよう関係機関と連携に努めました。

高齢者虐待

地域・医療機関等から、虐待相談があった際は連携しながら対応に努めました。

高齢者虐待ケース相談については、地域包括が初動で関わり、随時、区福祉保健センターへ連絡相談し、連携協働した対応を行いました。また、緊急性の判断を行ったうえで、毎月の定例カンファレンスの場等にて、区福祉保健センターより支援の方向性を確認し、共有し、的確な役割分担に基づき対応を行いました。

認知症

区福祉保健センター及び関係機関と協働し、区徘徊 SOS ネットワークの普及啓発活動を継続いたしました。

ケアプラザ事業の一環として事業や出張講座、小中学校の福祉教育のメニューとして認知症サポーター養成講座の提案など地域の様々な世代に向け認知症の理解・見守り支援の構築に努めました。

事業、広報紙等を通じ、認知症の理解・普及啓発等情報発信に努めました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

介護保険代行申請時にケアマネジャーが必要と思われる時は早期から連携し、利用者が自分らしく暮らせようように支援に努めました。

区役所・居宅介護支援事業所と連携を取りながら、必要なサービスを迅速に提供できるよう努めました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

区地区担当との定例カンファレンス・地域ケア会議などで区や医療機関、事業所機関との連携した支援に努めました。高齢者住宅の相談員や担当地区にある交番など随時、情報共有し、実態把握や地域ニーズ把握に努めました。

圏域内の居宅介護支援事業所を訪問し地域ケアプラザの活動について情報発信を行いました。また、現在は顕在化していなくとも今後問題になってくるケースの共有に努めました。

民生委員児童委員との情報交換を行い、地域からの相談に対応しました。担当しているケアマネジャーが存在しているケースに関しては本人・家族の同意を得て連携支援を行いました。区地区担当との定例カンファレンスや地域ケア会議などを通じた実態把握、高齢者住宅の相談員や担当地区にある交番など随時、情報共有し、地域ニーズ把握に努めました。

医療・介護の連携推進支援

圏域の医療機関・薬局を月1回訪問し地域ケアプラザの活動について情報発信しました。地域ケアプラザ等PR用クリアファイルを医療機関に配架後、医師からの問い合わせが来るなど、関係が構築されてきました。

圏域の薬局薬剤師へ講師依頼しケアプラザにて7月から毎月1回ケアマネジャー向け講座を開催しました。

医療機関の相談室からの相談など、退院から在宅生活へのスムーズな移行が出来るようケアマネジャー等関係各所への迅速な対応支援に努めました。又、ケアマネジャーが抱えているケースについて医療的助言が得られる体制作りにも努めました。

その結果個別地域ケア会議と包括レベル地域ケア会議へ、医師や病院相談室の看護師や医療ソーシャルワーカーが参加しました。

ケアマネジャー支援

11月よりケアプラザ協力医と協働で「ドクターとケアマネの相談」を計画。圏域内の居宅介護支援事業所に周知広報を行いました。ケアマネジャーに対し医師から4回/年助言いただきました。

新入就労予定ケアマネジャーに対する研修を旭区地域包括支援センター主任ケアマネジャーと共同で9月に開催しました。参加者の中の1名に対し当ケアプラザでケアマネジメントに対する実習及び個別研修を行いました。

ケアマネジャーからの相談は現在128件（去年は43件）あり、区福祉保健センター職員と連携して対応しました。ご利用者宅でのサービス担当者会議の開催が困難でケアプラザの部屋を提供して開催支援したケースは1件でした。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

1.個別レベル地域ケア会議は、2回開催しました。包括レベル地域ケア会議は6月・11月に2回開催しました。多職種ネットワークの構築としては多職種参加の事例検討会を当ケアプラザで川井地域ケアプラザ・若葉台地域ケアプラザと協働で開催しました。事例検討会を通して医師・ケアマネジャー・訪問介護事業所・訪問看護事業所・管理栄養士・弁護士とのネットワーク構築に努めました。

5 介護予防事業

介護予防事業

介護保険制度に基づくサービスに限定することなく、地域のインフォーマルサービスについて積極的に情報を集め、必要に応じてご利用者が活用できるように情報提供を行いました。

関係する医療機関や民生委員の方々、地域で活動するボランティア団体の方々と連携して、住み慣れた地域でご利用者・ご家族の望む生活が継続できるように支援を行いました。

特定のサービス、特定のサービス事業者のみに偏ることなく、公正中立な立場を堅持してご利用者・ご家族のニーズに応えました。

区役所、社会福祉協議会などで開催される外部研修へ積極的に参加し自己研鑽に励みました。

適切なケアプランや評価について書類整備とケアプランチェックをし、法令遵守に努めました。

元気づくりステーション、みな元気旭の活動が継続できるよう支援しました。新規に「昼食会」がみな元気旭の活動として立ちあがる際の後方支援を行いました。

地域特性である坂を克服できるよう、関係各機関や地域住民の方との協同により「笹野台体操」を作成し、普及啓発をしながら介護予防に努めました。

6 生活支援体制整備事業

自治会館単位のサロン2か所の後方支援として地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援コーディネーターが連携し、携わりました（だんらん・ひとやすみ）。

元気づくりステーション、みな元気旭やサークル活動に参加し、ニーズの把握に努めました。

地域の会合や行事に出向き、関係性の構築に努めました。

担当地域の社会資源を整理し、旭区役所と共同で地域の介護予防マップ作成を行いました。

ささえあい連絡会の定例会に参加し、サロンの拡充のため、分科会の一員となりました。将来的に協議体になり得る会議への参加を行いました。

笹野台地域ケアプラザ運営協議会にて、地域の方へ協議体の説明を行いました。

笹野台地域ケアプラザ自主事業、サークル活動、元気づくりステーション、みな元気旭の活動場所に出かけ、関係性の構築と情報発信を行いました。

地域のニーズ把握を行うため自治会サロンや、かがやきクラブでのアンケートを実施しました。

7 その他

2 連合 4 学校の懇談会に出席（2 回/年）し、情報交換・提供・共有の場になっています。ボランティアの意識付の為、シルバーポイントを設置し、ボランティア活動時には缶バッジを着用し活動していただくようにしました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：横浜市笹野台地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	生活支援体制整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援		
収入	指定管理料等収入	18,023	21,514	146	0	0	4,303
	介護保険収入	0	0	0	3,419	32,851	0
	その他	0	0	0	3,760	86	0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	3,760	0	0
	雑収益他	0	0	0	0	86	0
	収入合計(A)	18,023	21,514	146	7,179	32,937	4,303
支出	人件費	11,551	17,809	0	0	29,783	2,166
	事務費	1,590	1,775	0	4,348	1,299	
	事業費	610	569	147	0	460	114
	管理費	2,853	765	0	0	0	
	その他	924	0	0	0	497	0
	消費税	924	0	0	0	0	0
	繰入金費用	0	0	0	0	497	0
	支出合計(B)	17,528	20,918	147	4,348	32,040	2,280
収支 (A) - (B)	495	596	-1	2,832	897	2,023	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合約取扱は、介護報酬を一旦王額収入に訂正した後、他事業者へ委託料として又払つたを支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
笹野台歌声喫茶『ひろば』	地域	150,786	58,486	92,300	93,324	0	57,462
	933人						
	100円						
ほのぼの体操	高齢者	106,656	36,456	70,200	106,656	0	0
	517人						
	300円						
サロン『お茶べり会』	地域	25,113	25,113	0	5,000	5,938	14,175
	487人						
	100円(会計は地区社協)						
親子で一緒にリズム体操	子供	29,997	24,997	5,000	29,997	0	0
	85人						
	100円						
管理栄養士さんによる 食育講座	乳幼児	32,000	32,000	0	0	0	32,000 (保育料)
	115人						
	500円						
お試し企画キッズダンス	子供	33,330	18,030	15,300	33,330	0	0
	81人						
	300円						
公園あそび	子供	0	0	0	0	0	0
	293人						
	無料						
ティータイムコンサート	地域	24,755	17,455	7,300	0	0	24,755
	239人						
	無料(12月100円)						
七夕飾り	地域	324	324	0	0	324	0
	37人						
	無料						
キッズday	子供	49,981	30,681	19,300	0	45,903	4,078
	315人						
	100円						
子供合気道体験教室	子供	16,665	11,865	4,800	16,665	0	0
	39人						
	300円						
こども体育教室	子供	16,665	10,665	6,000	16,665	0	0
	23人						
	300円						
脳と体のトレーニング体操	高齢	122,210	34,410	87,800	122,210	0	0
	903人						
	100円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
夏休み子ども企画 囲碁キッズ	子供	858	858	0	0	0	858
	17人						
	無料						
夏休み子ども企画 将棋キッズ	子供	4,144	4,144	0	0	0	4,144
	44人						
	無料						
親子でクリスマス コンサート	子供	7,998	6,698	1,300	6,000	0	1,998
	27人						
	100円						
大掃除	地域	2,877	2,877	0	0	0	2,877
	73人						
	無料						
笹野台ケアプラザ 文化祭趣味探訪展	地域	8,055	6,555	1,500	5,555	2,500	0
	418人						
	200円・50円						
旭ふれあい区民まつり行政・ PRコーナー出展事業	地域	235	235	0	0	235	0
	613人						
	無料						
こどもの書初め	子供	643	643	0	0	0	643
	16人						
	無料						
フリールーム	地域	0	0	0	0	0	0
	130人						
	無料						
わくわくパソコン講座	地域	30,000	8,000	22,000	30,000	0	0
	120人						
	200円						
合同歌声喫茶・2016	地域	0	0	0	0	0	0
	436人						
	500円(会計はオアシス)						
小児救急救命講習会	子供	0	0	0	0	0	0
	22人						
	無料						
救急救命講座	地域	1,814	1,814	0	0	0	1,814
	23人						
	無料						
登録団体交流会	その他	8,648	8,648	0	0	0	8,648
	38人						
	無料						
シニア向けスマートフォン	高齢	0	0	0	0	0	0
	12人						
	無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
3地域ケアプラザ合同(笹野台・川井・白根地域ケアプラザ合同子育て支援事業夢をあきらめないで!～たくましく生きるために必要な「生きる力」を育てよう～	子供	77,737	77,737	0	0	77,737	0
	280人						
	無料						
シニアメイク講座	高齢	6,193	5,293	900	5,555	638	0
	10人						
	100円						
将棋倶楽部	地域	10,000	10,000	0	0	0	10,000
	69人						
	無料						
エコ布草履	地域	300	300	0	0	0	300
	26人						
	無料						
ベビーマッサージ	乳幼児	13,600	1,700	11,900	9,999	3,601	0
	41人						
	700円						
簡単に出来るおうちメンテナンス講座	地域	8,055	6,555	1,500	5,555	2,500	0
	5人						
	500円						
3地域ケアプラザ合同(笹野台・川井・南希望が丘)障がい余暇支援事業『なつっこスマイル』	障害児	27,147	18,897	8,250	3,000	24,147	0
	37人						
	1,500円 <small>(南希望が丘と按分)</small>						
おり・あい・スペース 耳から学ぶ外国語 ～第1弾 英語～	小学生	54,934	42,334	12,600	18,000	33,934	3,000
	87人						
	200円						
合気道護身術	地域	5,555	3,455	2,100	5,555	0	0
	9人						
	300円						
出張サロンひとやすみ	高齢者	17,655	15,855	1,800	0	6,859	10,796
	47人						
	100円(4・7月のみ)						
出張サロンだんらん	高齢者	1,479	1,479	0	0	0	1,479
	77人						
	100円 <small>(会計は東笹野台自治会)</small>						
交通安全講座	地域	3,915	3,915	0	0	0	3,915
	24人						
	無料						
第3月曜クラブ	高齢者	6,000	6,000	0	6,000	0	0
	283人						
	内容によって <small>(会計は地区社協)</small>						
元気に介護予防 「コグニサイズ」	高齢者	5,474	5,474	0	5,000	0	474
	11人						
	無料						
元気に介護予防 「栄養改善」	高齢者	9,457	9,457	0	5,000	3,987	470
	14人						
	無料						

平成28年度 自主事業収支報告書

--	--	--	--	--	--	--

事業ごとに別紙に記載してください。

事業名	①主な対象 ②延べ参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
元気に介護予防 「筋力アップ体操」	高齢者	32,970	32,970	0	25,000	0	7,970
	72人						
	無料						
介護者のつどい	地域	0	0	0	0	0	0
	49人						
	無料						
無料法律相談会	地域	0	0	0	0	0	0
	9人						
	無料						
ケアマネサロン(弁護士による 成年後見事例検討セミナー)	高齢者	0	0	0	0	0	0
	28人						
	無料						
元気に介護予防 「お口の健康と介護予防」	高齢者	15,470	15,470	0	15,000	0	470
	20人						
	無料						
認知症理解の普及啓発・情報発信 映画上映会	地域	27,000	27,000	0	0	0	0
	50人						
	無料						
ケアマネサロン(在宅支援における 多職種連携～薬剤師編～)	事業者	0	0	0	0	0	0
	80人						
	無料						
転ばん体操	高齢者	4,000	4,000	0	4,000	0	0
	12人						
	無料						
介護予防 「ロコモティブシンドローム予防」	高齢者	27,470	27,470	0	20,000	0	7,470
	60人						
	無料						
介護予防 「栄養講座」	高齢者	6,970	6,970	0	5,000	0	1,970
	6人						
	無料						
介護予防 「理学療法士の先生が行う体力測定・自宅でも出来る運動指導」	高齢者	25,448	25,448	0	24,000	0	1,448
	13人						
	無料						
介護予防出前講座 「口腔ケアでおいしく食べて元気にすごそう」	高齢者	8,984	8,984	0	8,000	0	984
	24人						
	無料						
介護予防 「口腔ケアでおいしく食べて元気にすごそう」	高齢者	15,227	15,227	0	12,000	0	3,227
	8人						
	無料						
精神保健福祉ボランティア講座	地域	475	475	0	0	0	475
	68人						
	無料						
笹野台体操	地域	6,542	6,542	0	0	0	6,542
	30人						
	無料						

横浜市笹野台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
笹野台歌声喫茶『ひろば』	<p>目的： 歌うことにより、口腔ケア、腹筋運動、肺機能の運動になり、心と身体のリフレッシュをする。青春時代を思い出していただく。</p> <p>内容： アコーディオンに合わせて、童謡、歌謡曲を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月～平成29年3月 ・計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの体操	<p>目的： あまり体を動かす機会のない高齢者の方に、レクリエーションを通じて体を動かす事での健康維持・同年代の方々との交流を図る。</p> <p>内容： ボールやセラバンド等を利用した立位、座位で行う体操と参加者の方々が過ごした”青春”や懐かしい芸能人等のパズルを利用したレクリエーションの実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月～平成29年3月 ・計24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳と体のトレーニング体操	<p>目的： 脳のための体操を行うことにより、身体だけではなく、脳にも健康になってもらう。同世代との交流を行うことにより、外へ出掛ける楽しさを感じてもらう。</p> <p>内容： モーツァルトの音楽を聴きながら、脳を活性化させる体操を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月～平成29年3月 ・計22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン『お茶べり会』	<p>目的： 自宅にこもりがちな高齢者に外に足を向けていただく。同年代の方々との交流を楽しんでいただく。趣味活動を通して自分の得意を引き出していただく。</p> <p>内容： お茶・お菓子を食べながら、皆でおしゃべりをする。毎回30分ほどのイベントを盛り込む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月～平成29年3月 ・計12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で一緒にリズム体操	<p>目的： 同世代で行動を共にし、交流を図る。ケアプラザが子供も気軽に來ることのできる場として認知してもらう。親の情報交換の場としてもらう。子どもとの上手なコミュニケーション法を学ぶ。</p> <p>内容： ボール、ベル、ベルダーを使い、音楽に合わせて身体を動かす。手遊びなども取り入れ、親子でのコミュニケーション体操を行う。 朗読サークルにお願いして、子ども用の朗読を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月～平成29年3月 ・計9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お試し企画キッズダンス	<p>目的： 全身運動でストレスを発散させる。同世代で行動を共にし、交流を図る。ケアプラザが子供も気軽に来ることのできる場として認知してもらう。</p> <p>内容： 音楽に合わせて、ヒップホップダンスを行う。発表の場を用意する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年5月～平成28年8月 計7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
公園あそび	<p>目的： 外遊びの大切さを伝える。同世代の子どもの交流、また、親の交流の場づくり。地域の方のボランティア活動の場づくり（ボランティアの育成）。いずれは地域の活動につながる。</p> <p>内容： 公園に集まり、親子、地域ボランティア、スタッフと一緒に遊ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月～平成29年3月 計11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ティータイムコンサート	<p>目的： 生演奏を体感出来る等の機会を作る。会場整備、お茶とお菓子の受け渡し等で、ボランティアの活動の場にする。</p> <p>内容： ボランティアの演奏団体に演奏を行ってもらい、コンサート等に赴くことが難しい方々にお茶を飲みながら、気軽に演奏を楽しんでいただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年7月～平成29年3月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
七夕飾り	<p>目的： 日本古来から伝わる七夕行事を再確認し、日本の伝統文化の良さを知ってもらい、笹野台地域ケアプラザの季節を感じる行事として、定着させる。年齢を問わずケアプラザに足を運んでいただくきっかけづくりとする。</p> <p>内容： 願い事を書いた色とりどりの短冊や飾りを、笹の葉に吊るし、飾ってもらう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年6/25～平成28年7/7 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キッズDay	<p>目的： ケアプラザが気になっても、出入りする機会がない子供たちに、子供解放dayを作り来館していただく。ケアプラザを身近に感じてもらう、今後のボランティア活動にも協力してもらえ環境作りをする。ジュニアボランティアの活動場の提供。</p> <p>内容： 各部屋でクイズに答えてまわる。多目的ホール1（車いす体験）、多目的ホール2（ダンス発表会・スタージャン・工作）、ボランティアルーム（アートバルーン）、地域ケアルーム（工作）【マグネット・スーパーボール作り・プラ板・新聞紙鞆作り】、調理室（かき氷）、情報ラウンジ（パン販売）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年8/3 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
フリールーム	<p>目的： 気軽にケアプラザに来所し、さまざまな世代が交流する事で、日頃交流出来ない方々に繋がりを持っていただく。新しい地域のつながりを図る。子どもが放課後を過ごす場として、また地域の高齢者との触れ合いの場として活用いただく。午後の貸館率を上げる。</p> <p>内容： 月2～3回・月曜日の午後1時～5時。広報誌で宣伝。館内にも宣伝。将棋・囲碁・談話の場として活用いただく。子どもには、宿題等をする場としていただく。利用者は受付で名前と連絡先を記入。時間内は出入り自由。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月～平成29年3月 ・計33回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でクリスマスコンサート	<p>目的： 生演奏を聞く機会のなかなかない未就園児に、ピアノや歌、ハンドベル等の生演奏を聞く場を設ける。子どもたちに、楽器の素晴らしさや、音楽の楽しさを伝えることで、感性を刺激する。親には、音楽で日頃の育児疲れを癒してもらう。</p> <p>内容： クリスマスに因んだ曲を演奏。簡単なリトミックやお話も取り入れる。サンタクロースの登場。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年12/23 ・計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大掃除	<p>目的： 当館を使用いただいている皆様に、大掃除していただくことで、館内を清潔に保つ手伝いをしていただく。普段、顔を合わせる事のない、色々なサークルの方々と同じ作業を行うことで、地域の住民の交流を図る。当館が福祉を重んじる施設であり、サークル活動もその一環であることへの理解を深めてもらう。</p> <p>内容： 1. 多目的ホール1に13時から集まっていただき、出席確認をする。 2. 挨拶後、サークルで普段使用しているお部屋ごとに分かれる。 3. 担当職員と共にチェックリストで確認しながら、清掃をする。 4. 15時、終了していない部屋の方も一緒に集まっていただき、挨拶後、解散する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年12/18 ・計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笹野台ケアプラザ文化祭趣味探訪展	<p>目的： 地域の方々にサークル活動の認知度を上げ、地域の交流の活性化を図る。ボランティア活動をお願いすることで、ボランティアの育成の場とする。サークルの方々にはボランティア活動を組み込む意識を高める。</p> <p>内容： 自主事業の発表の場、当館で確認しているサークルの発表の場。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10/29・30 ・計1回（2日間）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアメイク講座	<p>目的： 同世代の地域交流、活性化を図る。高齢化が進み高齢者の心のケアへの関心が高まり、心理療法（回想法）が期待される。</p> <p>内容： 加齢による肌や表情の変化に合う自然な化粧法と毎日のスキンケアを学ぶ。若く見せるテクニックを教わり、若き日の自分を思い出してもらい、元気になってもらう。</p>	平成28年5/29 ・計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶・2016	<p>目的： 歌好きな方が集まって仲間作りや健康作り。また、外出の機会を作ることで引きこもり予防。区内全地域ケアプラザの周知。</p> <p>内容： 一昨年から地域の方による運営となり、区内全ケアプラザは後方支援となる。今までの義援金の報告を行う。今年度の寄付金は181,188円となり、後日被災地に届けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年5/25 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小児救急救命講習会	<p>目的： ケアプラザを利用してもらうきっかけ作りと、心肺蘇生法やAEDの使用法など、いざという時に役立つ救急法を学ぶ。</p> <p>内容： 人形を使い、心肺蘇生法（心臓マッサージ、人工呼吸）、AEDの使用法、誤飲の講習、体験を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年9/25 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
救急救命講座	<p>目的： ケアプラザを利用してもらうきっかけ作りと、心肺蘇生法やAEDの使用法など、いざという時に役立つ救急法を学ぶ。</p> <p>内容： 人形を使い、心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸）、AEDの使用法、止血、異物除去法の講習、体験を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年9/10 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休み子ども企画囲碁キッズ	<p>目的： 遊び場の減っている小学生を中心に、ケアプラザを開放し仲間や年長者と遊ぶ場を提供する。囲碁の楽しさを学ぶ。</p> <p>内容： ルールのわからない子には説明から、ルールのわかる子はボランティアさんと対局して楽しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年7月～8月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
合気道護身術	<p>目的： 日本生まれの武道である合気道を通じ、姿勢、護身術、逮捕術、礼儀作法等を学ぶ。身を守る大切さを通じて、人を思い遣る心や、武術を通じて礼儀作法の大切さを知ってもらう。それらを通じて、ボランティア精神を養ってもらう。ケアプラザが、子供も気軽に来ることのできる場として認知してもらう。</p> <p>内容： 心と身体の使い方。正しい姿勢を身に付ける。護身術を生活で活かせるよう、礼儀作法や挨拶を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11/7 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
将棋倶楽部	<p>目的： 男性が参加しやすい企画と午後の貸館利用をねらい、将棋に興味のある地域の方を集め、交流を図る。夏休みの子ども企画でのボランティア活動に協力いただく。</p> <p>内容： ケアプラザにある将棋を使い、対局を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月～平成28年9月 計10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張サロンひとやすみ	<p>目的： 地域の活動にはなかなか参加する機会がない、ケアプラザまでは遠いというニーズに応え、介護予防や出張相談も行える地域サロンを実施。</p> <p>内容： 茶話会を中心として交流の場の提供。介護予防となる活動及び相談会。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月～平成28年9月 月1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出張サロンだんらん	<p>目的： 地域の活動にはなかなか参加する機会がない、ケアプラザまでは遠いというニーズに応え、介護予防や出張相談も行える地域サロンを実施。</p> <p>内容： 茶話会を中心として交流の場の提供。介護予防となる活動及び相談会。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月～平成29年3月 月1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
交通安全講座	<p>目的： 送迎ボランティアの不足解消を図ると同時に、旭警察署協力により、地域住民の交通安全再認識と高齢者の運転技術及び交通安全再認識を促す。</p> <p>内容： <ul style="list-style-type: none"> DVDを使った交通安全の講義 トラビック(交通安全体操) シミュレーターによる運転適性検査 </p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年3月計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エコ布草履	<p>目的： 手先を動かし認知症予防。趣味の合う方との交流の場の提供。 資源循環局の方からゴミの出し方・分け方を学ぶ。</p> <p>内容： 古布の浴衣で草履をつくる。 ゴミの分別パネルを見ながら分け方、出し方を学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年9月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ベビーマッサージ	<p>目的： 親子のふれ合いと、情報交換、お友達作りの場とする。孤立親子を減らす。</p> <p>内容： アロマオイルでベビーマッサージ 保護者のティータイムで情報交換の場を提供。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年8月～平成28年9月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニア向けスマートフォン	<p>目的： シニアの方に社会教育の一環として学習の場の提供をする。新しい事に興味を持っていただき、指先を動かす事により、脳の活性化を図る。同世代との世代交流を図る。</p> <p>内容： スマートフォンの基本操作・電話のかけ方 インターネットの活用方法・安全なアプリの使い方・災害対策アプリ紹介等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年6月～平成28年7月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
管理栄養士さんの食育講座	<p>目的： 栄養を考えた離乳食を作る。手作りの物を子どもに食べさせる。同世代の親子の交流の場とする。</p> <p>内容： お子さんを保育ボランティアさんに預け、先生の調理の説明・実演後に講師から栄養の話を交えながら試食していただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年9月～平成29年3月 計7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わくわくパソコン講座	<p>目的： 社会教育の一環として学習の場の提供をする。 パソコンで何が出来るか分からない方、使い方がよく分からない方向けに基礎からゆっくり丁寧、楽しく繰り返し学ぶ。 新しい事に興味を持っていただき、指先を動かす事により、脳の活性化を図る。 買い物難民〔弱者〕対策→（今後インターネットで買い物出来るように）</p> <p>内容： パソコンの基本操作、便利な機能、インターネットの検索方法等を学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11月～平成29年3月 計10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おり・あい・スペース 耳から学ぶ外国語 ～第一弾 英語～	<p>目的： 耳から学ぶ外国語として生きた英語の発音のテクニックを学ぶ。受験勉強ではなく英語に親しみ、異文化を理解し、国際社会に適応できる手助けをする。食育の一環として昼食時に交流する。</p> <p>内容： ・高校生ボランティアが調理 ・小学生英会話授業 ・小学生参加者と高校生ボランティアと一緒に昼食</p>	<p>・平成28年10月～平成29年1月 計6回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こどもの書初め	<p>目的： 書初めを通して、季節の行事に触れる。ケアプラザが子供も気軽に来所出来る場であることを知ってもらう。</p> <p>内容： 講師の指導で書初めを行う。</p>	<p>・平成29年1/5 計1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
登録団体交流会	<p>目的： 年に一度のサークル同士、横の繋がりを持ってもらう。</p> <p>内容： 登録団体の自己紹介・交流・貸館ルールの確認、ボランティアについてのお話をする。</p>	<p>・平成28年2/26 計1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第3月曜クラブ	<p>目的：高齢者の介護予防、閉じこもり予防、地域の仲間作りを目的に実施する。 笹野台地区社会福祉協議会・笹野台地区保健活動推進員(8月のみ)と共同開催することで、地域課題や情報を共有し、連携を図る。 内容：年間の取り組みを笹野台地区社会福祉協議会と協働し、介護予防となる内容、楽しみながら参加できる企画をする。</p>	<p>・平成28年4月～平成29年3月 ・月1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気に介護予防「コグニサイズ」	<p>目的：認知症予防について普及し、今年度の介護予防講座を周知する。</p> <p>内容：コグニサイズと介護予防講座の説明</p>	<p>平成28年4月4日 計1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気に介護予防「栄養改善」	<p>目的：加齢に伴う低栄養の理解</p> <p>内容：目で見て低栄養にならないメニューを学ぶ たんぱく質・カルシウムの取り方</p>	<p>平成28年6月30日 計1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気に介護予防 「筋力アップ体操」	目的：介護予防の必要性を理解して、自治会単位を超えてつながることが出来る。 内容：筋力トレーニングを通じて介護予防の大切さ・仲間で活動する意味を学ぶ。	平成28年4月～平成28年7月 計5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護方法や介護で困っていることをひとりで抱え込まず、相談できる。大変な気持ちを分かちあい共感できる仲間を見つける。 内容：情報提供と参加者間の情報交換、参加者のニーズに対応した内容を組み込み実施していく。	・平成28年4月～平成29年3月 ・月9回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
無料法律相談会	目的：思わぬ法的トラブルや財産・遺言・気になることはあるがなかなか相談できない、またこの弁護士さんに相談したらよいかと悩んでいる方に、安心できるケアプラザで開催する法律相談会に相談することで解決の糸口を見つけてもらう。 内容：弁護士にお越しいただき、高齢者・障害者の方を対象に無料法律相談会を開催する。	平成28年6月～平成28年9月 計4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネサロン (弁護士による 成年後見事例検討セミナー)	目的：成年後見制度を抽象的に知っていても具体的な利用方法が分からず、ついつい利用者の通帳を預かって金銭管理をしてしまったり、代理に印を押してしまったりとリスクを冒してしまっているケアマネジャーが多い。そのため、正しい知識と活用方法を事例から学んでいただく。 内容：事例を通し成年後見制度を理解して頂く。成年後見制度には成年後見人の他、補助・保佐がある事、実際の申請の流れや成年後見人が行っている活動について費用も含め、実際に活動している弁護士より講義して頂く。	平成28年4月～平成28年6月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気に介護予防 「お口の健康と介護予防」	目的：加齢に伴う口腔機能低下の理解 内容：口腔機能について・口腔ケアの必要性・健口体操・上手な歯磨きの仕方について学ぶ。 受診時にはなかなか質問ができないことが多いので、質疑応答を行う。	平成28年9月30日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症理解の普及啓発・情報発信 映画上映会	目的：地域の幅広い住民層に向け、認知症の理解・啓発を図る 内容：『わが母の記』の映画上映会	平成28年9月3日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネサロン (在宅支援における多職種連携～薬剤師編～)	目的：薬剤師の在宅業務の理解と多職種連携の為のガイドランス 内容：利用者にとって良い療養環境を提供するために多職種がスムーズに連携できるよう情報交換・情報共有し医療と介護の垣根をなくす。	平成28年7月～平成28年12月 計6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
転ばん体操	目的：地域は山坂が多いため、転倒の危険性から外出を控える方もいる。介護予防の為に転ばないようにする体操を行う。 内容：足・腰に特化した体操教室	平成28年8月31日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防 「ロコモティブ シンドローム予 防」	目的：加齢に伴う運動機能低下を理解する。 内容：ロコモ予防の基礎知識と自宅でも出来る運動を学ぶ	平成28年10月～平成29年1月 計4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防 「栄養講座」	目的：加齢に伴う低栄養の理解 内容：フレイル・サルコペニアの予防方法	平成28年11月22日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防 「理学療法士の先生が行う体力測定・自宅でも出来る運動指導」	目的：自分の身体を理解し、介護予防の必要性を知る。 内容：①体力測定②結果説明③転倒予防体操④質問コーナー	平成28年11月30日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防出前講座 「口腔ケアでおいしく食べて元気にすごそう」	目的：加齢に伴う口腔機能の低下の理解とケアの仕方を知る。 内容：①口腔機能について②口腔ケアの必要性③健康体操④歯磨き法⑤質問コーナー	平成29年12月16日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防 「口腔ケアでおいしく食べて元気にすごそう」	目的：加齢に伴う口腔機能の低下の理解とケアの仕方を知る。 内容：①口腔機能について②口腔ケアの必要性③健康体操④歯磨き法⑤質問コーナー	平成29年2月24日 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
精神保健福祉ボランティア講座	目的：精神疾患障がいの特性が分からず地域住民が混乱していることから、障がいの理解を深めるために研修・講座を開催し、対応への勉強を行う。 内容：①精神疾患をお持ちの方の特性について、精神保健福祉士より講座を行い、地域の仲間として理解して頂ける講座の開催。 ②ボランティア講座として、「ボランティアとは」「当事者及び家族や施設からの講話」「実習先施設紹介(実習先から来て頂く)」 ③2/8～2/27までの間で旭区内精神保健福祉施設にて実習。 ④振り返りとしてボランティアフォローアップを実施。	平成29年1月～平成29年2月 計4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
笹野台体操	目的：坂道に負けない身体づくり 内容：家で気軽にでき、ご自分の身体機能に合わせて座位や立位でも出来る体操	平成28年11月～平成28年12月 計4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり行政・PRコーナー出展事業	目的： 来場しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知る機会をつくる。 内容： 射的コーナー、ご意見コーナー、掲示物、配布物でPRする。	・平成28年10/16 ・計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
こども体育教室	目的： 運動=健康について学ぶことで、心身への大切さを考えてもらおう。ケアプラザが、子供も気軽に来ることのできる場として認知してもらおう。同世代との交流。運動をする楽しさに触れる。苦手なものを克服する力を身に付ける。 内容： 瞬発力を鍛える・走り方講座・体力作り・体幹トレーニング・運動と健康についての講義。	・平成28年6月～平成28年7月 ・計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休みこども企画将棋キッズ	<p>目的： 核家族でなかなか交流することの少なくなった年配者との交流を行う。</p> <p>内容： ルールのわからない子には説明から、ルールのわかる子はボランティアさんと対戦して楽しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年8月 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども合気道体験教室	<p>目的： 日本生まれの武道である合気道を通じ、姿勢、護身術、逮捕術、礼儀作法等を学ぶ。身を守る大切さを通じて、人を思い遣る心や、武術を通じて礼儀作法の大切さを知ってもらおう。それらを通じて、ボランティア精神を養ってもらおう。ケアプラザが、子供も気軽に来ることのできる場として認知してもらおう。</p> <p>内容： 正しい姿勢、危険な目に合わないための方法、相手との間合いの取り方、人に掴まれたときの対処法、人の想いについて等を教わる。正しい姿勢の復習、刃物の渡し方、渡した後の間合いの取り方の復習、その他の武器の渡し方、逮捕術を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年7月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
簡単に出来るおうちメンテナンス講座	<p>目的： 講習を受けてもらうことで知識を高め、自分で自宅を修繕していく方法を習得する。 講習を学んだ知識を活かし、ボランティア登録に協力してもらえる人員を募る。</p> <p>内容： クロス補修やフローリングの傷補修を説明（デモ）＋実習 クロス汚れの取り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年12/10 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
3地域ケアプラザ合同（笹野台・川井・白根地域ケアプラザ合同子育て支援事業夢をあきらめないで！～たくましく生きるために必要な「生きる力」を育てよう～	<p>目的： 現在の子ども達をとりまく環境においてたくましく生きるためのヒントを得る。</p> <p>内容： スポーツを通して育む心や体の成長と夢を諦めず何事にも立ち向かうことの意味を伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年7/27 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
3地域ケアプラザ合同（笹野台・川井・南希望が丘）障がい余暇支援事業『なつつこスマイル』	<p>目的： 1. 事業を通じて、より身近な地域で顔の見える関係づくりやつながりを深める。 2. 学校以外での居場所づくりや地域活動への参加につなげる。 3. 地域の方々にとって障がい児理解・啓発およびボランティア活動の場とするとともに障がい児者支援に関わるボランティアを育成する。</p> <p>内容： より身近な地域で顔の見える関係作りや繋がりを深める。学校以外での居場所作りや地域活動の参加に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年8/20 計1回